

平成26年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

開講方式	Aタイプ (研究科開講型)	研究科名	医学研究科		カテゴリー	社会実装・イノベーション科目群		横断区分	文理横断型																																
授業科目名 (英訳)	創薬技術・ビジネス概論 (Introduction to Technology of Drug Development and Business)			講義担当者 所属・氏名	医学研究科 山本博一			開講場所	医学部構内 G 棟 セミナー室 B																																
配当学年	修士 博士後期 専門職	単位数	2単位	開講期	前期	曜時 限	木6限 (18:15-19:45)	授業形態	講義・演習																																
〔授業の概要・目的〕																																									
創薬に関する基本(新薬の研究・開発、特許、ライセンス、産学連携、バイオベンチャーなど)を学ぶとともに、創薬産業で活躍されている方を複数外部講師として招聘し、企業の現実の活動に触れることにより、創薬プロセスを支える最新技術、戦略、組織についての知識を得る。 上記を通して、創薬関連の技術・ビジネス、また大学の研究成果の移転、大学発ベンチャーなどの基礎知識を持ち、これらビジネスにかかわる基礎的な能力を得る。研究者を目指すのであれば、自身の研究の効果的な技術移転に必要となる要素を学び、企業との共同研究の企画などの参考となる事象を理解できる。																																									
〔研究科横断型教育の概要・目的〕																																									
医薬品には、ライフサイエンスの最先端の研究成果のみならず、行政の観点、倫理の観点から見た課題解決、ベンチャーや産学連携組織の構築など、様々な観点からの研究の成果が内包されている。創薬に興味のある多様な専門性を持った受講生が、産業の全体像を理解し、その専門性の本産業における役割と重要性を理解できることを目的とする。																																									
〔授業計画と内容〕																																									
<table><tr><td>第1回</td><td>本講座の概要(山本／寺西)</td><td>第2回</td><td>技術経営・知財経営学と研究開発</td></tr><tr><td>第3回</td><td>創薬のプロセス1 探索段階(山本)</td><td>第4回</td><td>創薬のプロセス2 臨床段階(池田)</td></tr><tr><td>第5回</td><td>医療行政(PMDA)(内海)</td><td>第6回</td><td>知財の国際ハーモナイゼーション(ノートン、米国弁護士)</td></tr><tr><td>第7回</td><td>公開セミナー</td><td>第8回</td><td>創薬技術Ⅰ-ゲノム科学と創薬プロセス-(酒井)</td></tr><tr><td>第9回</td><td>ベンチャーキャピタルの動向</td><td>第10回</td><td>米国バイオベンチャーの技術動向(山本)</td></tr><tr><td>第11回</td><td>創薬技術Ⅱ</td><td>第12回</td><td>創薬技術ⅢⅠ</td></tr><tr><td>第13回</td><td>創薬関連企業の戦略</td><td>第14回</td><td>薬剤の研究開発における課題と将来Ⅰ(池田／山本)</td></tr><tr><td>第15回</td><td>薬剤の研究開発における課題と将来Ⅱ(池田／山本)</td><td></td><td></td></tr></table>										第1回	本講座の概要(山本／寺西)	第2回	技術経営・知財経営学と研究開発	第3回	創薬のプロセス1 探索段階(山本)	第4回	創薬のプロセス2 臨床段階(池田)	第5回	医療行政(PMDA)(内海)	第6回	知財の国際ハーモナイゼーション(ノートン、米国弁護士)	第7回	公開セミナー	第8回	創薬技術Ⅰ-ゲノム科学と創薬プロセス-(酒井)	第9回	ベンチャーキャピタルの動向	第10回	米国バイオベンチャーの技術動向(山本)	第11回	創薬技術Ⅱ	第12回	創薬技術ⅢⅠ	第13回	創薬関連企業の戦略	第14回	薬剤の研究開発における課題と将来Ⅰ(池田／山本)	第15回	薬剤の研究開発における課題と将来Ⅱ(池田／山本)		
第1回	本講座の概要(山本／寺西)	第2回	技術経営・知財経営学と研究開発																																						
第3回	創薬のプロセス1 探索段階(山本)	第4回	創薬のプロセス2 臨床段階(池田)																																						
第5回	医療行政(PMDA)(内海)	第6回	知財の国際ハーモナイゼーション(ノートン、米国弁護士)																																						
第7回	公開セミナー	第8回	創薬技術Ⅰ-ゲノム科学と創薬プロセス-(酒井)																																						
第9回	ベンチャーキャピタルの動向	第10回	米国バイオベンチャーの技術動向(山本)																																						
第11回	創薬技術Ⅱ	第12回	創薬技術ⅢⅠ																																						
第13回	創薬関連企業の戦略	第14回	薬剤の研究開発における課題と将来Ⅰ(池田／山本)																																						
第15回	薬剤の研究開発における課題と将来Ⅱ(池田／山本)																																								
〔履修要件〕																																									
創薬プロセス、創薬に関連する産業に興味をお持ちの方はどなたでも受講可能です。																																									
〔成績評価の方法・基準〕																																									
平常点(出席を含む)、発表とレポートにより総合的に評価する。																																									
〔教科書〕																																									
特になし																																									
〔参考書等〕																																									
特になし																																									
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕																																									